

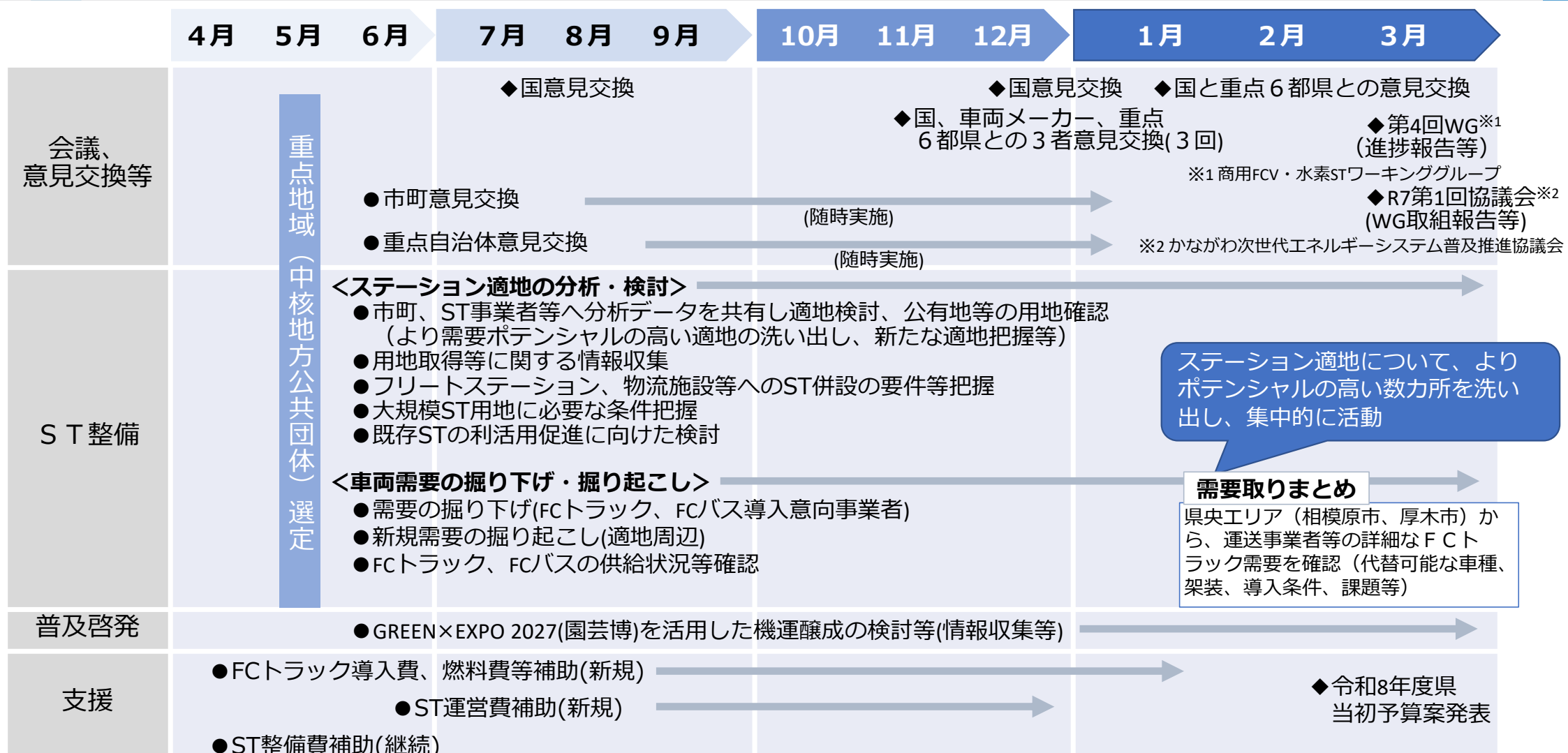


商用FCV重点地域の取組について

神奈川県脱炭素戦略本部室

2026.3.27

2025年度 県の取組結果



2025年度 県の主な取組

ST適地の分析・検討（ST適地のある9市町、事業者11者との意見交換等）

市町	ST適地に関する意見交換	・ 地域の実情や市町ご意見等 （渋滞状況、想定される住民調整、住宅密集地除外等）から、 よりポテンシャルの高い適地を洗い出し
	用地等の確認	・ ST整備に適した公有地等の確認
	事業者への取次依頼	・ 市町でつながりのある物流施設や工業団地、事業者等から車両需要や ST整備に適した所有地の有無等 を確認
事業者	水素ST事業者	・ 一部既存STはFCバス利用可能、県央エリアはポテンシャルが高いこと等を再確認 ・ ST適地検討のための、 大規模ST用地に必要な要件(面積、出入口幅等) を聞き取り
	フリートステーション事業者	・ 水素ST整備、水素ST併設にはまず需要見込みが必要 であることを確認
	不動産事業者	・ ST整備の用地取得等に関する情報収集、ST用地は整備の計画段階で盛り込むことや 需要見込みが必要、交通の要所は売買の動きが非常に早い こと等を確認

車両需要の掘り下げ・掘り起こし（事業者19者との意見交換等）

運送事業者	・ FCトラック導入に関心のある事業者と車両メーカーとの橋渡し ・ より具体的なFCトラック導入意向や課題等について再確認
バス事業者	・ FCバス導入に関心のある事業者とST事業者、車両メーカーとの橋渡し
車両メーカー	・ FCトラック、FCバスの量産化に向けた状況 、運送事業者提供用の車両情報、ST整備に向けた需要集めの考え方等確認 ・ 水素エンジン車や新型FCトラックの開発状況、他国の商用FCV普及状況等確認
荷主事業者	・ トラック導入に向けたハードル(利益見込みや脱炭素以外のメリット必要、 県央エリアなど、水素STが必要)を確認

情報収集・課題共有等（11団体との意見交換等）

自治体	・ 重点地域に係る取組事例の情報収集および、 選定後の課題共有 を実施、幹線輸送を行う事業者への取次ぎ依頼
国	・ 車両メーカーを交えた情報・意見交換、中核地方公共団体1都5県と資源エネルギー庁幹部による意見交換、県の取組状況報告や今後の取組方針等について意見交換
道路公団	・ トラックの出入りが多い高速道路ICについてデータ分析

新たに見えてきた課題等

車両需要に関する課題

- ・ **運送事業者等の需要をとりまとめたところ、今後の車両供給状況等によっては一定程度の車両の導入が見込まれる結果であった(車両の種類・架装バリエーション拡大や具体的な仕様の提示等により、更なる需要の積み上げが期待できる)。**
- ・ **県から提供できる車両情報等が限られており、需要創出に向けた活動に限界がある。**
また、**必要とする車種がないため、導入を検討できないケースが多い。**
- ・ **多くの物流拠点が集積する県央エリアにSTが少なく、荷主・運送事業者がトラック導入を想定しにくい。**
- ・ **FC小トラの次期モデルやFC大トラの量産化に関する状況が不透明で、車両供給の目途が立っていない。**

ST整備に関する課題

- ・ **交通の要所付近の土地(ST利用が見込まれるインターチェンジ等)は売買の動きが早く、車両の需要見込みが立つまで確保しておくことは現実的でない。**
- ・ **フリートステーションへの併設や物流不動産等への新規整備は、需要見込みなしでは整備検討は困難。**



- **本格的な商用FCV車両の量産化タイミングを捉えて、事業者がスムーズに導入検討できるよう、需要やST用地の確認、理解促進・情報発信等に引き続き取り組み、「商用FCV-Ready」の状態を整えていく必要がある。**
- **県の取組に加えて、県が把握する需要等を活用して、各主体が積極的な取組につなげていただくことが重要。**

商用FCVの導入等に関する県予算

R8当初予算案: 3億6,900万円(前年比+1億3,150万円)

国の「商用FCV重点地域」選定を受け、商用FCVの普及等を促進するため、**補助メニューを新設・拡充**する。

FCVに関する補助

2億4,700万円

① 商用FCV導入費・燃料費補助【2億1,700万円】

補助対象	補助率	補助上限額 ※
FCバス	1/3	【導入費】 3,830万円 【燃料費】 320万円
FC大型トラック	1/3	【導入費】 6,800万円 【燃料費】 190万円
FC小型トラック	1/3	【導入費】 1,630万円 【燃料費】 130万円

R8新設

R8新設

R8拡充

※ 対象経費の1/3又は同等車両との差額から国補助等を差し引いた額

※ 導入費にはメンテナンスリース料を含む

② FCV導入費補助【3,000万円】

・補助額：100万円

水素STに関する補助

1億2,200万円

① 水素ST整備費補助【4,200万円】

・補助額：最大4,200万円

② 水素ST運営費補助

R8拡充

【8,000万円】

・補助額：新規 2,000万円
既存 1,000万円



各主体における取組の方向性(案)

「商用 F C V 重点地域」における商用 F C V の普及や水素ステーションの整備を促進するため、県の取組に加え、各主体の皆様には積極的に次の取組を進めていただきたい

車両メーカーの皆様

- ・ 車両供給計画、仕様情報等の提示
- ・ 積極的な需要開拓、需要情報等の提供
- ・ 車両の種類、架装バリエーションを増やすなど、ニーズに合わせた車種、車両タイプへの対応検討

ST事業者の皆様

- ・ ST整備に必要な情報（水素需要量、用地要件等）の提供
- ・ 積極的なST整備（新設・能力増強）の検討、需要に応じたSTスペック等の提示
- ・ 需要情報や他の自治体内のST整備・運営、参考となる事例等の提供

運送事業者・バス事業者の皆様

- ・ 既存車両を含めた商用FCV導入の積極的な検討と需要把握への協力
- ・ 他の自治体内での導入、運用例等の共有

県

- ・ 本格的な商用 F C V 車両の量産化タイミングを捉えて、事業者がスムーズに導入検討できるよう、車両需要や S T 用地の確認、確認した需要等について車両メーカーや S T 事業者へのフィードバック、商用 F C V への理解促進・情報発信等に引き続き取り組む。